

経営比較分析表（令和2年度決算）

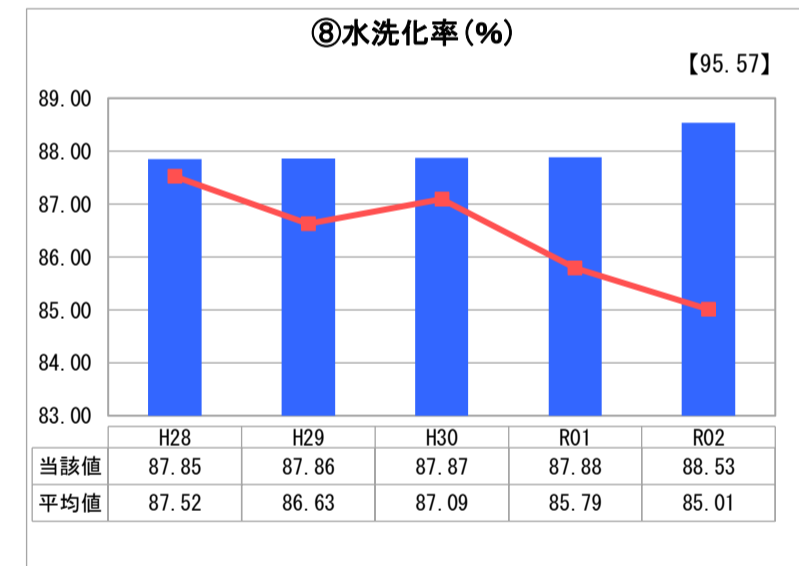
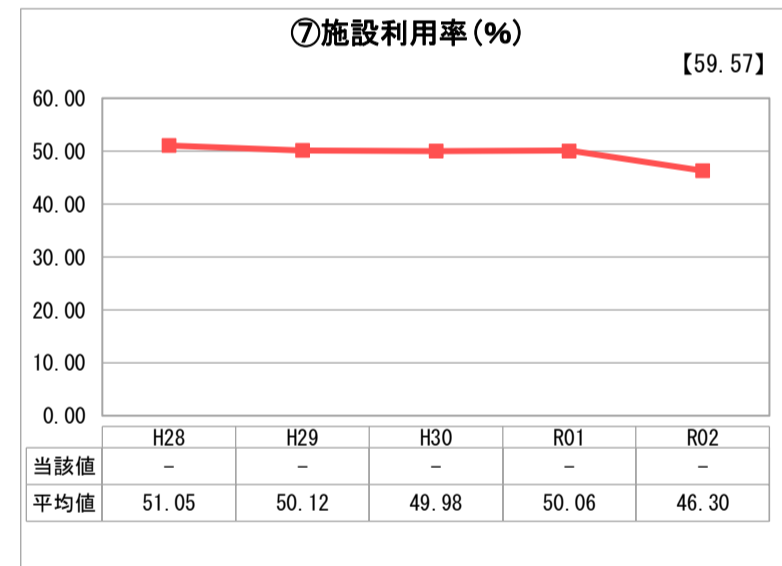
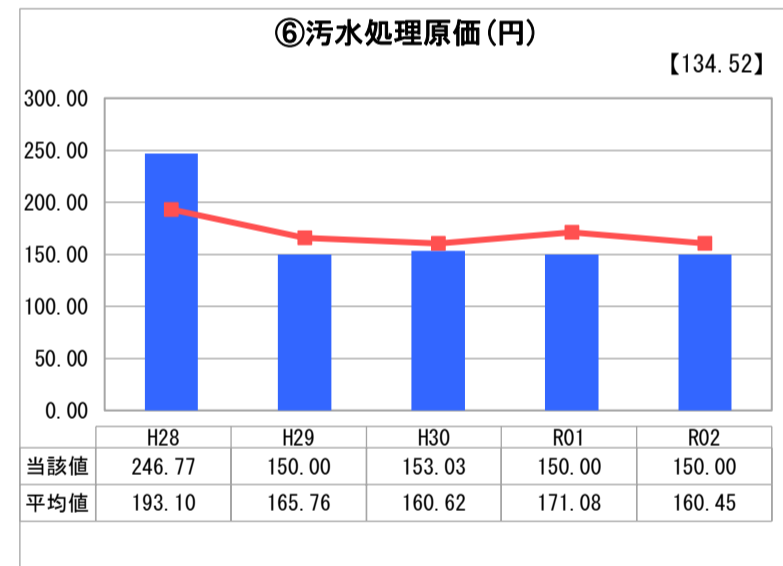
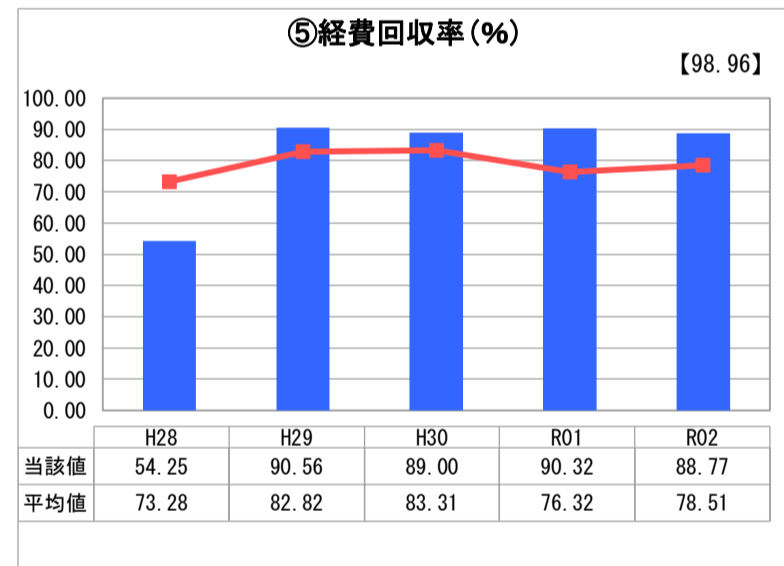
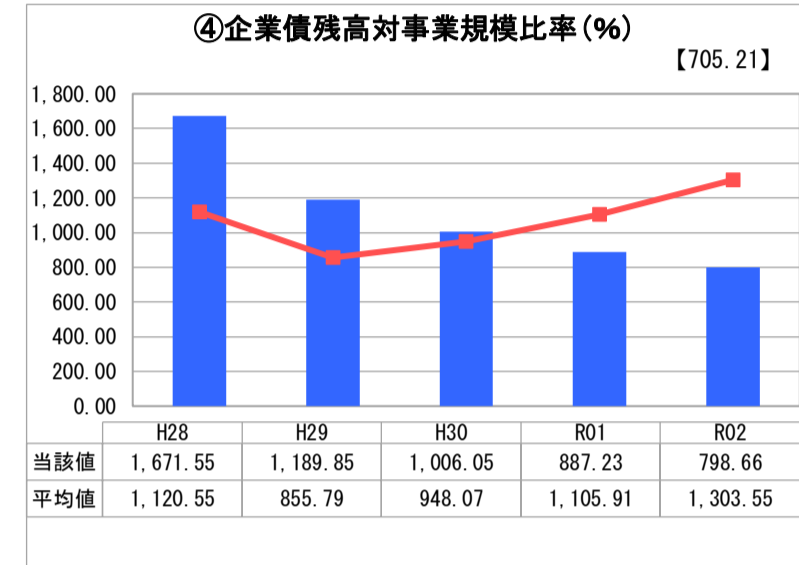
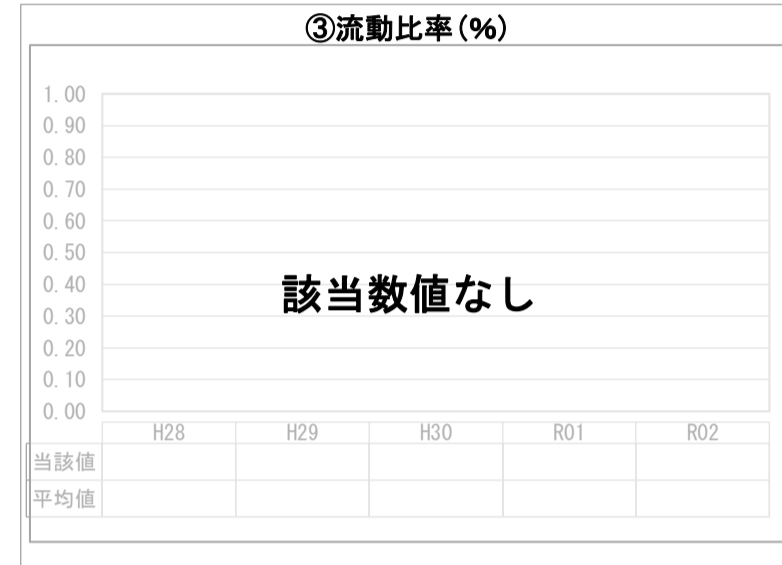
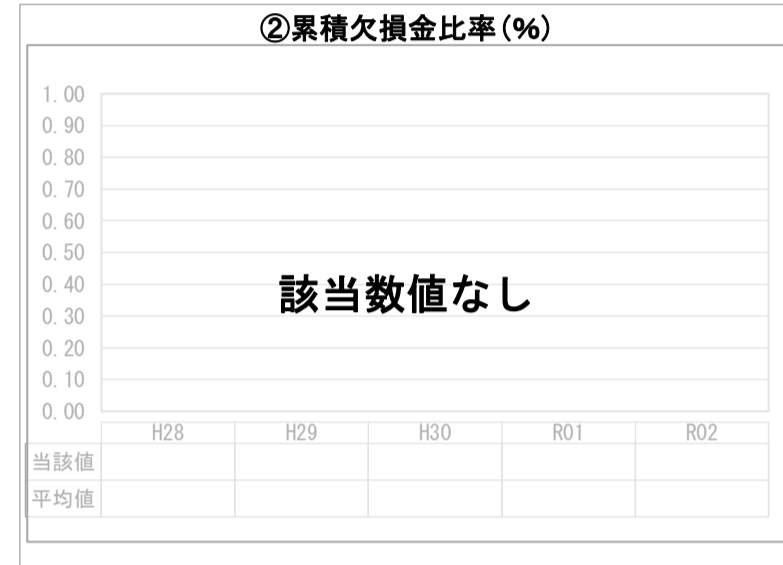
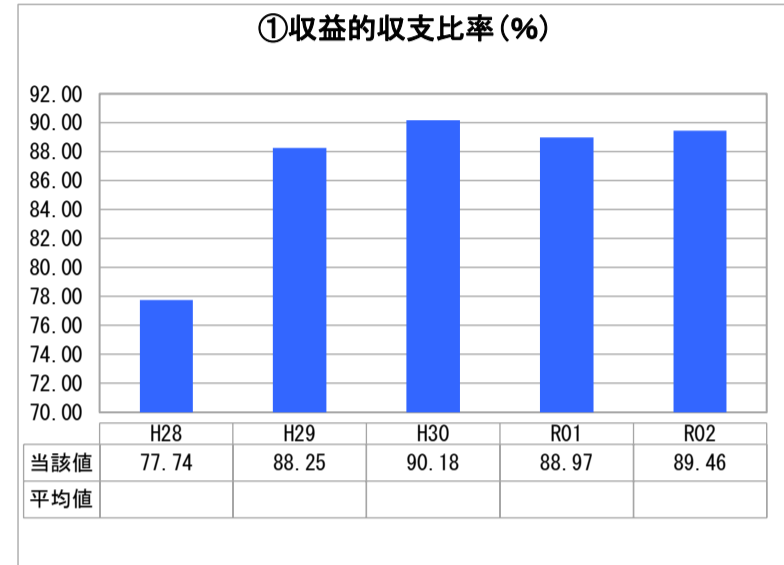
大阪府 田尻町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cb2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 97.32 | 88.32 | 1,830 |

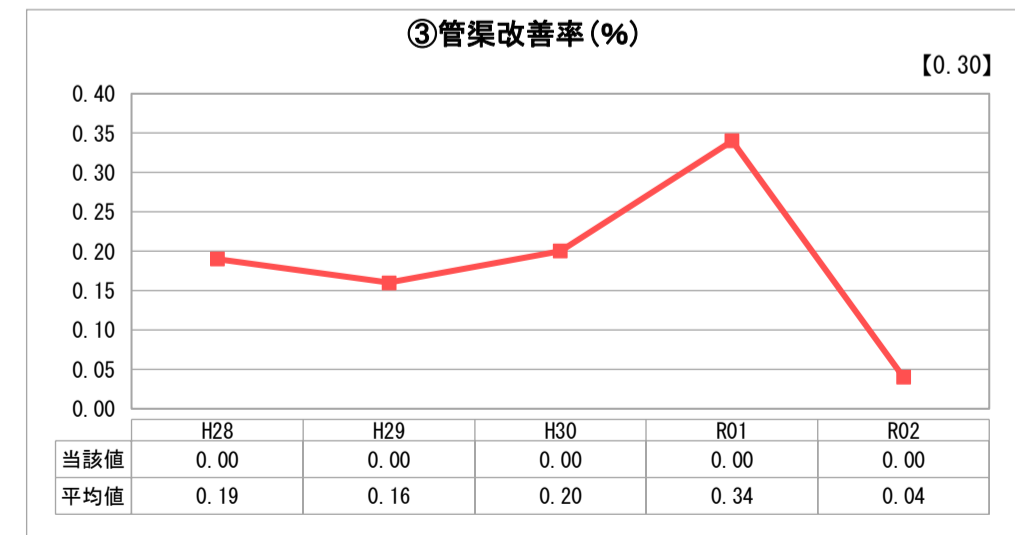
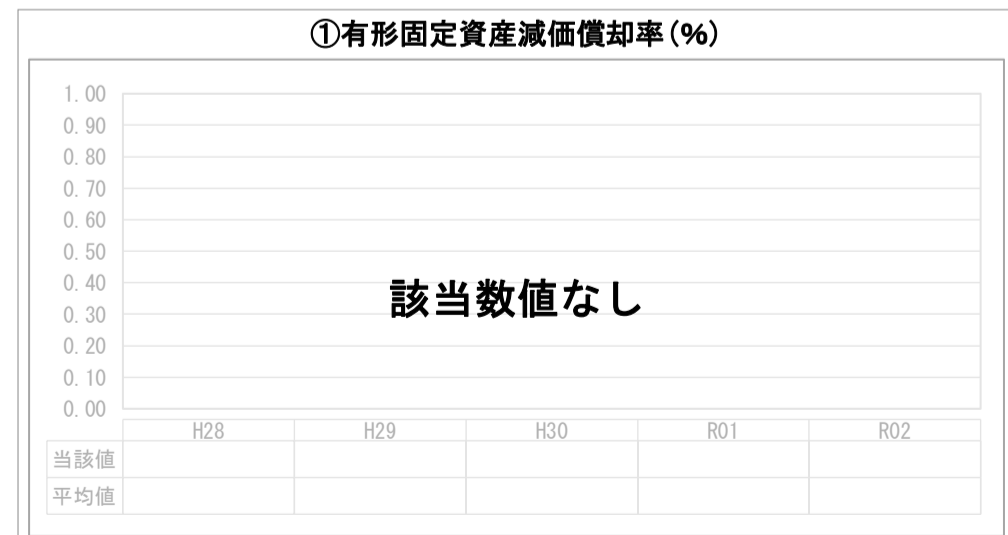
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 8,642 | 5.62 | 1,537.72 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 8,075 | 1.45 | 5,568.97 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和2年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町では、関西国際空港の周辺整備に伴い、下水道施設整備を急速かつ集中的に行ったことにより、多額の企業債を発行した。その残債は、毎年の償還により年々減少しており、未だに多額であるが、④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値に比べ、昨年度同様低くなった。

平成29年度から国の通知に基づき分流式下水道等に要する経費について、公費で負担すべき汚水資本費を基準内の繰入金としたことにより従前の数値から大きく変化している。

他会計繰入金への増に伴い①収益的収支比率は高くなり、⑥汚水処理原価が類似団体平均値に比べやや低くなっている。

さらに下水道使用料は20m³(立方メートル)あたり1,830円(消費税率10%)と府内平均(2,263円)に比して低額であるものの、汚水処理費の減に伴い⑤経費回収率は類似団体平均値に比べてやや高くなっている。

なお、⑦施設利用率は、単独処理場を設置していないため、当該値を計上していない。

2. 老朽化の状況について

管渠は、供用開始(平成5年4月)から26年の経過であり、更新は行っていない。

全体総括

今後、ストックマネジメント計画の策定や経営戦略の検証、地方公営企業法適用を進めるなかで、適正な下水道使用料の設定や管渠更新について検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。